

いちよう 11月号



【ハッピー子育て講座に参加して】11/9

*演題 「心の声、届いていますか？」

～子どもとのコミュニケーション術～

講師 栃木市教育委員会生涯学習課 根岸 昭人 様

1年生の保護者の皆様と一緒に参加しました。最初は楽しいアイスブレイク、参加者の笑い声からスタートしてあっという間の40分間でした。たくさん学びの中から一部をご紹介します。

*自己肯定感が育つと いいこといっぱい

自分には短所もあるけど、長所もある。ありのままの自分をまるごと受け入れられるのが自己肯定感です。子どもを認めることで自己肯定感は大きく育ちます。それにより、新しいことに挑戦したり、努力して壁を乗り越えたり、相手の気持ちを思いやりたりすることができるようになります。

*子どもを認める声かけを

たとえば、ゲームに夢中になっている子に、「やめなさい」と言いがちですが、子どもの楽しい気持ちを共有しつつ、次にやるべきことの見通しをもたせたり、一緒に止める時間を決めたりできるような言葉を選んでみましょう。そして、やめられたときには、たくさんほめ言葉を。

参加して下さった皆様ありがとうございました。日々、子育てに真剣に関わっていらっしゃる事が感じられ、頭が下がりました。2月にも予定されておりますので、多数のご参加をお待ちしています。

【児童表彰】

*栃木市教育振興大会善行功労児童表彰

*****さん (6-1)

*****さん (6-2)

6年間の積み重ねの成果としての表彰です。おめでとうございます。

*第49回「小さな親切」作文・標語コンクール

作文の部 [県本部 最優秀賞(県知事賞)

栃木支部 優秀賞]

*****さん (4-1)

標語の部 [県本部 佳作/栃木支部 優秀賞]

*****さん (6-1)

標語「人の和で 生まれた幸せ 大きな輪」

【第3回学校運営協議会開催】11月8日(水)

主に、これまでの行事の報告と来年度の行事の持ち方について協議していただきました。委員から、「時代に合った形に変えていくことは必要である。」「変えていくことのメリットとデメリットをよく検討する。」「変える際にはよく理解してもらえるように説明する。」などのご意見をいただきました。ご意見を十分踏まえて進めてまいります。

また、授業参観では、タブレットをよく活用していることや、ボランティア活動をしている方をゲストティチャーとして迎えて、地域の福祉活動について学ぶ授業が大変好評でした。授業にいたるまでの教員の準備に対しても労いのお言葉をいただき、苦勞した甲斐がありました。

【職員も研修しています】

I 授業研究会

①10月25日(水) 栃木市教育委員会の海老沼宏明指導主事をお迎えして、6年2組で大橋良平教諭による算数の授業

②10月31日(火) 栃木県学力向上コーディネーターの鶴見行雄先生をお迎えして、6年1組で永島智男教諭による算数の授業

①②以外にも先生同士で見せ合う授業を随時実施中

II 「児童生徒への性暴力等不祥事防止」研修

11月8日(水) 校長による校内研修を行いました。本県で教諭が懲戒免職になるなどの不祥事が発生していることを受け、本校でも危機意識をもち、改めて、本校の教職員として、子どもたちの成長のために力を合わせる教職員集団であることを確認するために行いました。児童をひとりの人間として尊重し接すること、教育公務員として法を守ること、SNSを使って児童や保護者と個人的なやりとりを絶対にしないことなどを確認しました。

信頼がなければ教育は成り立ちません。私を含めひとりひとりが、児童や保護者の皆様から信頼される教員となり、信頼される学校を作ります。

保護者の皆様も、お子さまのことや学校の対応について疑問や心配なことがありましたら、遠慮なく校長・教頭にお知らせください。

学校行事はHPでチェック!!ご覧ください。

<https://tm2.tcn.ed.jp/fujiokasyo-tea/>

[6年]食育授業・校外学習 [5年]渡良瀬遊水地環境学習 [4年]とち芥ランチ [3年]蔵の街とちぎ校外学習 [1・2年]秋探し・校外学習他